

東京も随分と秋らしくなり、今年最後のJournalとなりました。9月の台風15号で被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。さてこの度弊社は、皆様からの永年のご支援のお陰をもちまして、12月に会社設立80周年を迎えます。今後も不景気や災害などいろいろな苦難が待ち構えているとは思いますが100周年を目指して頑張りますので、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

アルミ素材へのめっき加工を始めます！

昨今部品の軽量化の流れでアルミ素材へのめっき加工のお問い合わせが増加しています。今までは協力企業にて対応していましたが、弊社でもアルミ素材へのめっき加工ができるようにと、プロジェクトチームを立ち上げました。鉄や銅素材と違い、ジンケート処理を行ってから無電解ニッケルめっき加工となります。無電解ニッケルめっきを着けてしまえば、その上に金・銀・錫めっき等のバレルめっき加工が可能ですので、弊社の既存設備にてそのままめっきができます。まだ試作段階ではございますが、弊社で対応できない場合も協力企業で対応できますので、皆様からのお問い合わせを心よりお待ちしております。

大森本社工場跡地にアパート完成



土壌浄化が完了した大森工場跡地に9月30日に小さなアパートが完成しました！大森工場をご存知の方々には大変ご心配をおかけしましたが、竣工前に無事に満室となり、地域の方に愛されるアパートになってくれればと思っております。ちなみにこのプロジェクトが商工中金のディスクロージャー誌に取組事例として掲載されました。もし店舗に行かれることがございましたら是非P9を探してみてください。

無電解ニッケルの鉛入りタイプを2020年に製造中止

弊社の標準タイプの無電解ニッケルめっきはRoHS規制物質「鉛」を380ppm含有しています。今までも鉛フリータイプを推奨させていただいておりましたが、この度標準タイプにつきましては2020年中に製造中止にすることを決定いたしました。大変お手数おかけいたしますが、鉛フリータイプへの切り替え・試作のご検討をお願い申し上げます。

毒物劇物取扱者試験に合格



田中 雅高

大学の工学部応用化学科を卒業しているので毒劇の資格を所有しているのですが、卒業して時間が経ったので再度勉強したいという申し出があり

仕事の後に講座に通い、一発合格です！毒劇の試験は法規、基礎化学、毒劇物の性質等、多岐にわたるため心が折れそうなくらい本当に難しいのですが、会社としては毒劇物をきちんと理解することはとても重要なことなので資格取得を奨励しています。何歳になっても勉強し、挑戦する姿勢は、若い社員たちの良いお手本になっています。

検査室のレイアウトを変更

改善活動の一環で、検査室のレイアウトを変更。以前は部屋の中心に検査済品の不動の棚があり、そこから台車に乗せ換えて運んでいましたが、棚を撤廃し台車に乗せることで効率化を行いました。固定観念にとらわれず、頭を柔軟に改善活動を続けて参ります。



お問い合わせ

営業担当

池田 絵理子(4代目就任予定)、
谷田部 良、戸賀沢 覚、
中林 広視

Tel 03-3790-2222